令和６年度　学校報　　　　校訓「英志つらぬけ」　　教育目標「和して、問い、答え、考え、創造しよう　ゆめはばたかせ」

東　明

令和６年10月１日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長　鳥井　雅則
第６号

東中祭　大大大成功

先月７日(土)に開催した東中祭には、ご来賓や保護者、ご家族の皆様をはじめ、卒業生や地域の皆様にも多数おいでいただき誠にありがとうございました。昨年はコロナ禍で、ある程度来校者を制限した中での開催でしたが、今年は制限なしで実施することができて、胸をほっとなで下ろしているところです。また、東中祭を迎えるに当たって、８月31日はＰＴＡ親子清掃活動を実施しました。今までと違い、朝６時30分から８時近くまでの早い時間帯での実施にもかかわらず、保護者や生徒を含む約170名の参加がありました。窓やトイレ、廊下、玄関等、ふだん生徒の清掃では手の回らない箇所を整備していただきました。お陰様で、東中祭を綺麗な環境の下で開催することができました。

さて、東中祭では、テーマ「響け歌声、輝け笑顔　～青春の風を巻き起こせ～」にあるように、全校合唱や合唱コンクールで、生徒が力強い歌声と美しいハーモニーを響かせました。観ている者を魅了し、笑顔に満ちあふれていました。午前中は、①ユニークな開祭式と催事案内、②学級が一つとなり幾度となく練習を繰り返した合唱コンクール、③校内作品の展示、④金魚すくい等の縁日の企画、⑤PTAが３年生と協働したババヘラアイス無料配布、制服リユースや古本市、⑥喫茶コーナーの復活などがありました。午後の部は、⑦ステージ発表（英語暗唱・弁論）、⑧生徒284名による圧巻の全校合唱、⑨最後を飾った吹奏楽部の演奏、⑩感動の閉祭式、⑪後夜祭（有志による歌やダンス）、実行委員会によるフィナーレでした。東中祭は、生徒の自主性、創意、企画力等を総動員した、生徒が主導する学校行事です。生徒にとっては一年で一番楽しく、盛り上がる行事になったのではないでしょうか。特に3年生の充実感、達成感に満ちた笑顔がその表れだったと感じました。企画したアイデアや練習する過程が、生徒一人一人を成長させてくれました。

16日からは後期が始業します。前期の学校生活を振り返り、夢や目標を明確にもって、何事にも前向きに挑戦していく東中生であることを期待しています。後期は、全県新人戦、各種校内授業研究会、新しい執行部による生徒会の運営、各種テスト、総合の学習の発表会（１、２年）、卒業式等たくさんの行事も目白押しです。東中祭での成功体験等を自信につなげ、英志をつらぬき、日々向上し続ける学校生活となることを祈念いたします。

☆合唱コンクール各賞☆
- 金賞　３Ａ(最優秀)、３Ｂ、２ＣＤ、１ＡＥ
- 銀賞　３Ｃ、３Ｄ、２ＡＥ、１Ｃ
- 銅賞　２Ｂ、１Ｂ

☆ピアニスト賞
- 最優秀賞　3B武田佳倫さん、3D菅原華音さん
- 優秀賞　3A山本みつ葉さん、3C山本よつ葉さん

☆指揮者賞
- 最優秀賞　３Ａ船木遼太郎さん
- 優秀賞　３Ｃ加藤諒さん

２年生がアマノさんとコラボ弁当販売！

昨年大好評だったアマノさんとのコラボ弁当企画ですが、今年も本校２年生と販売することになりました。食を通じて、地産地消や栄養バランス、消費カロリー、塩分調整等、多岐にわたる健康な食生活の見直しを目的にしています。東中祭でも販売しましたが、なんと140食以上の注文がありました。右の写真にあるように、色彩、食材そのものがもつ味わい、男鹿産の野菜の使用等の工夫が満載の弁当でした。アマノさんで、年５回（９･10･11･１･２月の各月第４週に企画）販売します。皆さんもぜひ食べてみてください。